

令和6年度 三宅支庁組織方針

I 目的

- 三宅島・御蔵島の持続的発展に貢献すること

II 戦略・戦術

戦略1 村の課題に寄り添い、解決に向けた取組を支える

- 〈戦術1〉 支庁職員は進んで地域に溶け込み、村民の信頼獲得に努める
- 〈戦術2〉 行事やイベントはもとより、新たな取組や事業展開に際しては、支庁としても様々な形で協力・支援する

戦略2 災害リスクの低減と対応力の強化を図り、村民の生命・財産を守る

- 〈戦術1〉 地域の特性を踏まえた不調対策の一層の推進を通じて、地震・噴火対策など自然災害に備える基盤整備を着実に進めるとともに、施設を適切に維持管理する
- 〈戦術2〉 村との合同訓練の実施や関係機関との連絡会議の体制強化等により、平時から災害への備えを万全にする

戦略3 村の自主的・自立的な行政運営に向けた支援を行う

- 〈戦術1〉 村の課題や置かれた状況を理解したうえで、事務の共同化や効率化、職員確保等に係る助言やサポートを行うとともに、小離島支援における御蔵島村モデルを着実に進める
- 〈戦術2〉 支庁の有する技術や情報を十分に活用し、村の事業推進を側面から支援する

戦略4 持続可能な産業振興への取組を後押しする

- 〈戦術1〉 関係団体と緊密に連携し、引き続き後継者確保等の事業を推進するとともに、本庁と連携しながら、東京宝島「SHINKAプロジェクト」や移住・定住促進等の取組を支援する
- 〈戦術2〉 地域資源を生かした産業振興を目指し、新たな特産品等の生産や流通に必要な施設整備及び技術支援を行う

戦略5 島の強みや魅力を創り、強化する

- 〈戦術1〉 島ならではの特産品の生産や開発、さらには地産地消の推進を支援することに加え、SNS 等を活用した効果的な情報発信により島の素晴らしさを島内外にアピールする
- 〈戦術2〉 空港ターミナルや船客待合所のリニューアル及び雄山環状林道の早期開通等に取り組む

戦略6 支庁内外の連携強化で、課題解決型の組織を創造する

- 〈戦術1〉 様々な事業がまとまっている「ミニ都庁」たる性質を生かし、課や職種、経験年数を超えて人材を育成するとともに、若手職員の挑戦・成長の機会を積極的につくるなど、柔軟な組織・人材マネジメントを実践する
- 〈戦術2〉 「未来の東京」戦略 version up 2024、「シン・トセイ 4」を踏まえ、デジタルツールの活用や事務事業の見直しを進めるとともに、村をはじめとする多様な主体と協働し、管内の課題を解決していく

III 共通

- 都の総合地方行政機関として、都や三宅村、御蔵島村の中・長期計画等が示す将来像の実現に向けて、関係機関と連携するとともに、職場内でオープン&フラットに議論しながら、スピード感を持って業務に取り組む
- デジタル化等により業務の効率化を進め、超勤縮減や 15 日以上の年休取得を促進するなど、ライフ・ワーク・バランスの推進を図る
- 「東京都コンプライアンス基本方針」等に基づき日々の業務に取り組むとともに、「三宅支庁職員コンプライアンス必携」等を活用し、コンプライアンスの徹底を図る